

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	馬術競技場管理運営費				
担当課係名	スポーツ振興課	課	スポーツ振興係	作成者 草薨 正勝	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	第5章 明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ 97
	基本計画	4 スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ施設の整備、管理			
予算費目	一般	会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	2 目 体育施設費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		新規/継続の区分		継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等	仙北市馬術競技場条例、仙北市馬術競技場管理規則				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	秋田県馬術連盟
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	スポーツの普及振興(市民に広く利用してもらいたい)
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績		
効果	活動指標	利用可能日数	目標	日	365	
			実績	日	365	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	仙北市馬術競技場・利用者数	目標	人	3,000	
			実績	人	950	
			達成度	%	31.7%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			1,784		
	人 件 費 (B)		—	85		
	職 員 数		—	0.01		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,869		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			1,869	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,121		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	63		

【事務事業の今までの成果】

<ul style="list-style-type: none"> ・県内に1ヶ所の施設出る。 ・角館高校（馬術部）の活動場所（現在休部中）。 ・インターハイ、国体選手を排出している施設である。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の廃止を決めた自治体もある。 ・東北6県の中で、県の高校に馬術部が無い県が出てきている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	<ul style="list-style-type: none"> ・県馬術連盟と協議の上、県立の馬術競技場設置に向けて県等に働きかける。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校馬術部の休部等があり、利用者の減少が進んでいるため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

<p>【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県馬術連盟と協議のうえ、高校統合により馬術部復活及び馬術競技振興のため、県立の馬術競技場設置に向けて県等に働きかける。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 2	角館高校馬術部の休部等により利用が無い状態であるが、秋田県内唯一の施設であり、秋田県馬術連盟とも連携協力し今後の利用促進に努めるべきと考えます。

